

式 辞

寒さを乗り越えた桜が満開となり、新年度のスタートにふさわしい時を迎えました。本日は、新型コロナウイルスの影響下ではありませんが、保護者の皆様のご協力を賜り、銀河学院中・高等学校入学式を挙行できますことを心よりお礼申し上げます。

銀河学院中学校、銀河学院高等学校への入学を許可した皆さん、入学おめでとう。私たちは、皆さんとの「出会い」を楽しみにしていました。そして、その「出会い」を大切にしたいと思います。皆さん一人ひとりが、まだ自分で気づいていない力を引き出し、そして伸ばすことに、私も精一杯取り組みたいと決意を新たにしています。

銀河学院は、創設者の思いである建学の精神「心豊かな人間性を育成し、調和のとれた人間づくりを旨とす」を受けつぎ、41年目をスタートさせた伝統ある学校です。

皆さんには、今日改めて「銀河学院の生徒になる決意」と「自分たちの未来を創造する気概」をもって欲しいと願っています。

銀河学院教育の思いは、校章に表されています。3つの星は「知性」「感性」「理性」をあらわし、それらを結ぶ楕円はそこにいたる道をあらわしています。「知性」は、答えのない問いに向き合う力。「感性」は、様々なできごとや人から素直に学ぶ心。「理性」は、正しく思考し、判断する力です。これらの力を結び、バランス良く育成することが、私たちの目指す教育です。その実現のため、「五つの実践」など「当たり前のことを当たり前に実践すること」にこだわり、皆さんには心豊かな人になり、「幸福を創ることのできる人」になってもらいたいと願っています。

銀河学院で学ぶうえで、心に留めておいて欲しいことを三つお伝えします。

一つ目は、「自分の可能性を拓げ、未来を創造していく」ことです。言い変えると、「自分は気づかせてできない」や「努力したって意味がな

い」など「自分の可能性と未来を決めつけない」で欲しいということです。学校は、皆さんの可能性と未来を互いに語り、その実現のために、誠実に学びを続ける場所です。過去の自分にとらわれたり、今の自分を否定することはやめてください。「これからの自分を創るんです。こんなドキドキわくわくすることはありません。皆さん一人ひとりに魅力や自分らしさがあるのです。自分を信じ続け、責任を持ち学び続けてください。」

二つ目は、「努力すること」です。努力することは、決してたやすいことではありません。悩むこともあるでしょう。自分に負けてしまい、逃げたくもなります。しかし、喜びや充実感を得たり、悩みを解決するためには、努力するしか方法はありません。どんなに努力しても、かなえられないこともあります。努力することを当たり前のごとにしてください。できることを一つひとつ増やすなど、努力し続けることで、見える世界が変わり、可能性が広がります。

三つ目は、「笑顔を創る」ことです。近年、笑顔が人間の心身に与える効能が、医学的・科学的にも世界レベルで次々と実証されているそうです。その実験の結果から分かることは、たとえ感情が伴わなくても、表情を笑顔にするだけで幸せを感じたのと同じ反応が脳に起こるそうです。笑顔でいないと人生損しているのではないのでしょうか。笑顔でいきましょう。特に、辛く負けそうになったときは笑顔を創ってください。そうすれば、必ず道は開けます。

新入生の皆さん 素直に、謙虚に、そして感謝の気持ちで取り組んでいけば、応援してくれる人があらわれます。皆さんの努力や挑戦を認めてくれ、支えてくれる人が必ずあらわれます。まっすぐに、ひたむきに行動する姿が、人とのつながりを深めていきます。

私たちは真剣に指導し、支援していきます。ついてきてください。皆さんが活力ある、実績を積み上げていく銀河学院の一員になることを期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆さま、お子さまのご入学まことに
おめでとうございます。私たちはお子さまの持てる力を伸ばすべく、
決意を新たにしているところでございます。本校教職員は、保護者の
皆さまと力を合わせ、ともに子どもたち一人ひとりの教育にあたっ
てまいります。そして、より活力のある、実績のある学校にしていき
ます。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

銀河学院で学び、自分自身と向き合い、仲間と共に前進し、高等学
校卒業式を迎えるとき、「理想とする自分の姿」に近づいていること
を願い、式辞といたします。

令和二年四月七日

学校法人 銀河学院

銀河学院中・高等学校

校長 吉岡 直人